

CMSC JOURNAL

Vol.10



東北シリーズ初戦を優勝で飾った
福土文秀/葛西一省組コルディア4WD
(CMSC青森)



半年ぶりのラリーで2位はお見事、小川日出生/小田切順之組コルディア4WD (CMSC山形)

スタート直前の笑顔、その後……。

'86JMRC東北チャンピオンシリーズ第1戦

第6回 田沢湖高原雪まつりウインターラリー (2月8・9日 秋田 250km)



斉藤伸二/佐竹浩文組コルディア4WD (CMSC山形)



高橋光男/崎山博行組コルディア4WD (CMSC福島)



足立琢/高橋修組コルディア4WD (CMSC福島)

'86全日本ラリー選手権に出場!

CMSC 青森
大西康弘

目標3位以内ノスノーinクレスト

このスノーinクレストから、また1年の長い戦いが始まる。僕はラリーアート・コルディア4WDでエントリーした。ナビは昨年羽豆選手のナビで活躍した田口雅生さんだ。コルディア4WDには1年ぶりに乗った。そのすばらしい成長ぶりに、まず驚いた。

しかし今年はちょっと雰囲気が違う。見渡すと4WDだらけ。噂のファミリア4WDが9台、レオーネ4WDが4台、サニー4WDが1台、そしてコルディア4WDが4台だ。同じCMSC青森の館山選手、福士選手、地元北海道の田中選手がコルディアを駆る。僕の目標は3位以内とコルディア勢でのトップだ。

1月25日(日)よいよスタート。昨年苦しめられた氷上SSから始まる。青森では氷が張らないし、氷上の経験も少ない、なんて言われてられない。SS1は大きなドジをしないように慎重に走る。トップとの差をみて、よしSS2は頑張るぞと思いつつ、これがいけなかった。進入速度を落とし、立ち上がりで稼がなければならないのが逆のことはかりやってしまった。ポジションは低迷した。

そしてナイトステージ。田口さんに「コルディアの武器は優れた操縦性にあるからよく考えて走れ」との教をいただいた。さあ気分が盛り上がってきた。ナイトステージは11個のSSがあり、各SSでいかにコンスタントに上位のタイムをマークできるかにかかっている。SS3とSS4はワダチができていたので奇麗に立ち上がれるように走り、タイムはまずまずだった。ところがSS5で我々のクルーは目の前が真っ暗になった。半分走ったところ、前方が明るい。いやな予感がした。すれちがえない細い道に6台も止まっている。焦るノスタック車が脱出した時には、2分位が過ぎていた。次のCPまで6台のラ



全日本戦で活躍する青森三羽鳥、(左から)館山正嗣、大西康弘、福士文秀('85栗駒山アルペンラリーにて)

ンデブーだ。頭の中で一瞬入賞をあきらめたが「ラリーは何があるか判らない」と田口さんに励まされ、気をとりなおして走る。

2ステの最終ハイアベ区間で館山選手がコースオフ。コルディアは3台になった。2ステのトップは片岡ファミリア、2位はコルディアの福士選手、我々はさらに2分遅れていた。3ステで目標は10位以内に變更。各SSを落ち着いて走る。その間福士選手、田中選手共りタイヤ、コルディア1台となり、重い責任を感じながら走る。途中レオーネの加藤選手が道をふさいでいた。我々も止められたが、早いゼッケンの選手は大減点となった。望みがでてきた。

明け方のSSは今までになくスリッピーな路面だったので足を取られないように目を2倍に開いて走り、無事ゴール。5位に入賞した。いろいろあったが、みなさんラリーは途中であきらめてはいけませんね //

氷上で決まった DCCSウインターラリー

第2戦DCCSウインターラリー、今回三菱車は僕と館山選手しかいない。昨年優勝しているの、今回もぜひと思ひス



今年も全日本で勝負ノ大西ノ田口組コルディア4WD(スノーinクレスト)



東北の実力No.1 ラリースト、館山ノ永沢組コルディア4WDの走り(スノーinクレスト)

スタート。コース上はまったく雪がなく、苦手の氷上でかなり成績が左右されそう。案の定下位に落ち込んだ。まったくいいところがない。ラリー区間は分計だし、SSは氷上を入れて6本しかない。また追う形になった。SS3はワダチの細い道、コルディア向きだ。トップと2秒差の3位。SS4、SS5の白糸ハイランドウェイ、ここはハイスピードコースでファミリアが速くて追いつけない。そして最後のSS6、ここはSS3と同じ浅間圏で、気合を入れてス

スタート。ところがシフトミスや姿勢変化の遅れが目立ちタイムが伸びないままラリーを終る。館山選手が頑張り6位入賞。僕は8位で幕を閉じた。

今後のラリーに全力をかけることを誓い、ウインターイベントは終わった。コルディア4WDはアンダーパワーを補う優れた操縦性を持っている。これを最大限に生かす走法を身につけて、ダートイベントで活躍したい。みなさん応援してください。

CMSC 帯広

第4回 コルト
氷上トライアル

4WD勢をおさえ、山コランサー優勝!

青沼達也

1月19日(日)、中川郡豊頃町豊頃沼で行われた、第4回 コルト氷上トライアル。長い直線とハイスピードコーナー、それにクランクや一本バイロンによる360°ターンを盛り込んだ1.5kmのコースレイアウトは、氷上とはいえFR車と4WD車でタイム差のない設定になっていた。しかし誰もがコルディア4WDとファミリア4WDの勝負を予想していたに違いない。この予想は1本目終了時では変りなかった。しかし2本目に入ったところで、360°ターンをビタリと決める完璧な走りで行った山コ善則ランサーのタイムは、4WD勢の顔色を変えさせた。

結果、山口はトライアル初優勝。2位にはおなじみの青沼コルディア4WDが、そして3位に話題のファミリア4WDが入賞している。

当日はNHKを始めTV局3社の取材も行われ、本部席横には出店が並び盛況ぶりで、エントラント・観客共に楽しい1日をごしました。



大会あいさつ、佐藤光政会長(マイク)



寒さ、冷たさなんのその、走るの大好き
北海道ダートトライアル



4WD勢真っ青ノ山コランサーの走り

第4回 コルト氷上トライアル結果(NIIクラス)

クラス順位	車番	ドライバー氏名	車名	ベストラップタイム
1	29	山口 善則	ランサー	1'41'35
2	65	青沼 達也	コルディア 4WD	1'41'45
3	46	工藤 賢二	ファミリア 4WD	1'42'28
4	47	武田 栄一	シビック	1'42'34
5	26	馬立 浩二	カローラ	1'43'09
6	43	吉守 訓利	ファミリア 4WD	1'43'18
7	45	佐々木和雄	カローラ	1'43'21
8	37	菅野 孝	ファミリア 4WD	1'43'46
9	41	石崎 一彦	コルディア 4WD	1'43'86
10	75	高橋 直樹	カローラ	1'44'53



自然に笑い
……ベストラップ
山口善

東北シリーズ第1戦小田切さんと出場して2位!

CMSC山形
小川日出生

トラブル多いスタート

半年ぶりのラリーだというのに、なんとトラブルが続くのだろうか? 直前までエンジンが始動せず、やっと走行テストに出かけたら雪に隠れた石にフロントロアアームをヒット、ステアリング系を破損。前日深夜まで修理に時間を費やした。ナビも急に変更しなければならず、アドバンの小田切順之さんに依頼したのが3日前。なんとかフレッシュコンピがフレッシュマシンでエントリーできた。

2月8日出、快晴。スタート1時間前、コンピュータの作動がおかしい。あせりが自分でも判る。しかし神は我々をみすてなかった。オフィシャルのコンピュータが借りられ一応安心。ナビは「リタイアか」と笑う。リタイアなど禁句なのに。

いよいよスタート。田沢湖を南下大曲周辺、1CP-2CPは軽く、アベは30-40。4CP、再スタート。マップ目標がない。他の車と同じく素直に曲がったら、ミスコース。やっとオンコースしたもののこの区間はミスコース車が多く、我々はゼッケン6であったが、ここから1号車で再スタートとなった。

操縦性バツグンのコルディア

夜間新雪が積り、道路は20cmの積雪。一時はラッセル状態だった。初めて乗る4WDだがコルディアの操縦性はバツグン

田沢湖高原 雪まつり ウインターラリー
('86東北チャンピオンシリーズ 第1戦)結果

順位	車番	車両	ドライバー/ナビゲータ
優勝	2	コルディア4WD	福士文秀/葛西一省
2	6	コルディア4WD	小川日出生/小田切順之
3	40	カローラレビン	倉田義道/木村浩一

で、ハイアベを難なくクリアする。

6-8CPではコース幅も狭く屈曲、アップダウンの新雪コース。スタックする車も多い。結局ノーチェック。1時間遅れて中継点サービスに着き、ガス補給、点検、休む間もなく出発、田沢湖一周コースに出る。アベが低い。ナビの勝負となった。

さすが小田切ナビ、この区間をトップで終える。ダムサイドのハイアベレージはショートCP設定で、コースコンディションも最高。コルディアの運転にも慣れアベにすぐ乗れた。逆走路を下り、無事ゴール。

ゴール後はまずビールで乾杯。これがなんといっても最高。ラリーをやっていた良かったと思う瞬間である。いろいろな問題があったが、2位に入賞した。

冬のラリーではエントリーもオフィシャルも大変だ。トラブル続きながらも2位となったのは、運が良かったでしょう。この強運を今後のラリーにも持っていきたい。次回はスタリオンで走ります。JAF戦、東北戦、みなさんよろしくお願ひします。



「ラリーは最高です!」小川日出生(左)と小田切順之



「今年はチャンピオンです」福士/葛西組コルディア4WD



苦労がムクわれた、小川/小田切組コルディア4WD

CMSC 岐阜 今年の活躍を約束して 水野国幸

'86年度総会は2月22日(土)-23日(日)にかけて下呂温泉にて開催。22日(土)夜は懇親会を行い参加者21名の中には2名の女性会員もあり、賑わしく親睦を重ねた。翌23日(日)午前9時より総会を開催。浅野会長の挨拶のあと、恒例の活動報告・会計報告を行ない、その後の役員改選では昨年役員の流れが決まり、浅野会長他副会長2名、会計監査1名が決定した。本年度の活動計画については特に熱心に討議され、

夏に全員参加でダートラ練習会を開催することに決定。また我々クラブ独自の4WDの活動として4WDトライアルを夏頃に実施することで全員の賛同を得た。

CMSC岐阜は今年で設立11年目に入りクラブ員も42名(4WD17名含む)となり、さまざまな行事に積極的に参加し、クラブの質の向上を計ることで意志統一を行い散会しました。



和気あいあい、CMSC岐阜のみなさん

CMSC 福島 篠塚建次郎と田口雅生を訪問

コルディア4WDを駆る、昨年のダートトライアルB地区チャンピオン(BII)上泉晃祥と、ランサーを駆る鈴木弘次。足回りのセッティングを決めるため、CMSCの本部を訪れ、篠塚建次郎と田口雅生の両名からアドバイスを受けた。

ショックアブソーバーの組合せからテクニックまで話がはずみ、これからのセッティングも煮つまった模様。「これで今年の丸和でのオールスターダートトライアルを狙います。」(上泉晃祥)これからの活躍が期待されます。



(左から) 鈴木弘次と上泉晃祥



田口雅生、篠塚建次郎と対談

CMSCだより
4月～7月に開催する
CMSCイベント 花ざかり



4月13日(日) 山形県ダートトライアルシリーズ第2戦

CMSC山形ダートトライアル

山形県のモータースポーツをもっと盛り立てていくために、急ぎで開催することとなった「CMSC山形ダートトライアル」。昨年秋の大会と同じ、月山のふもと、西川町の特設コースで行ないます。コース設定はテクニカルなもの。雪も2m近く残っていますので、面白いイベントとなるでしょう。100台ほどの参加を予定しています。(CMSC山形 小川日出生)

トロフィーがあなたを待っています。



主催
CMSC山形



昨年、BIIクラス優勝の鈴

栃木モータースポーツ連合 主催
CMSC 栃木

5月11日(日) 栃木県ダートトライアルシリーズ第3戦

'86スリーダイヤモンドトライアル

CMSC栃木では、5月11日(日)、関東地区でも人気の高い栃木県ダートトライアルシリーズの第3戦として「'86スリーダイヤモンドトライアル」を開催します。会場は未定ですが、県内になる予定。レギュレーションなど、詳細は4月上旬にお渡しできます。(CMSC栃木 町田俊英)



昨年の三受賞1位、霜田ランサー

5月11日(日) 群馬ダートトライアルシリーズ第2戦

'86CMSCトライアルin群馬

CMSC群馬ができて、3年目。山越え、谷越え、初の競技会「'86CMSCトライアルin群馬」を開催します。初めてなので、エントラントが喜んで走れるような大会としたいと思います。

群馬県吉井町特設コースを予定。120台前後のエントリーがあればと思います。クラブ全員でまごつかめよう頑張りますので、みなさんよろしく願います。(CMSC群馬 荒井信介)

主催
CMSC群馬



吉井町特設コースを走る荒井会長のランサー

主催
CMSC岩手

6月7日(土)～8日(日) '86JMRC東北チャンピオンシリーズ第2戦・盛岡近郊300km

岩手三菱ダイヤモンドラリー

盛岡近郊300kmで争われる東北チャンピオンシリーズ第2戦、岩手三菱ダイヤモンドラリー。年々ラリーを開催することが難しくなっていますが、みなさんが楽しめるものにと頑張っています。

東北シリーズは三菱勢の活躍がはなばなしところ。チャンピオンになるのは誰か。見逃せないイベントです。賞品も沢山用意しますので、ぜひお越しください。(CMSC岩手 佐々木 学)



CMSC岩手のみなさん ('85栗駒山アルペンラリーにて)

7月5日(土)～6日(日) 道東チャンピオンシリーズ戦・帯広市近郊200km

第3回コルトラリー

道東シリーズ戦として開催しているコルトラリーも、ようやく3回目を迎えることになりました。

年々、多方面による規制などが厳しくなり、開催するのも困難に成りつつあるラリーですが、モータースポーツ性の高いハイスピードラリーを旨とし今年も各方面に働きかけて行くつもりです。道東地方はいかんせんラリーよりもト

ライアルの盛んな地域であるため、毎年参加台数を揃えるのに大変苦慮しています。

内容としては毎年ナビセク、ドラセクをはっきり分け、ドライバー、ナビゲータ共に楽しめるメリハリのある設定としており、特にラリー人口の多い札幌方面からのエントリーも待っているのですが……。(CMSC帯広 青沼達也)

主催
CMSC帯広



「札幌のみなさん、お待ちしております」CMSC帯広のみなさん